

令和 2 年 3 月 1 3 日

人吉市議会議長 西 信八郎 様

厚生委員会委員長 高瀬 堅一

「市民と議会の意見交換会」実施報告書

このことについて、「市民と議会の意見交換会」を実施しましたので、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱第 8 条第 1 項の規定により提出します。

開催日時	令和 2 年 1 月 3 0 日（木） 1 9 時 0 0 分～ 2 0 時 4 0 分
会 場	あゆの里（人吉市九日町 3 0）
出席議員	【委員長】高瀬堅一 【副委員長】松村 太 【委員】井上光浩、平田清吉 塩見寿子、池田芳隆（記録者）
団体名	人吉市歯科医師会
参加人数	【歯科医師会】 1 0 名 【議員】 6 名 計 1 6 名
テーマ	○人吉市の歯科保健の現状 課題：高校生の医療費無料化 ○人吉市の歯科保健の取り組み 課題： 保育園でのフッ素うがいの普及 ○人吉市の行財政健全化計画の歯科保健への影響 課題：歯周疾患検診の受診者負担増 ○人吉市の新市庁舎建設に伴う 歯科室新設への要望について 課題：災害対策も含めた歯科室の設備の充実 ○歯科衛生士の不足について 課題：返済不要の奨学金の創設

意見交換会の概要	中原正弘人吉市歯科医師会会長、高瀬堅一厚生委員会委員長が挨拶を行い、参加者が各自で自己紹介を行った。 意見交換に入り、まず歯科医師会から『人吉市の歯科保健の現状』について説明があった。「中学３年生になると受験で忙しくなり、高校生になると、部活や受験勉強等で忙しくなるのか、受診機会が減り、虫歯の保有数が増える。近隣町村の状況では、医療費の無料化が進むと受診の回数も増えているため、中学校から高校にかけての歯科受診は重要なので、高校生までの医療無料化ができないか」との申し出があった。 次に、『人吉市の歯科保健の取り組みについて』は、「保育園、幼稚園のフッ化物洗口の実施率は、郡市内で人吉市が一番低い。小学校でフッ化物洗口を開始した平成２７年度以降は、虫歯率も減少していると報告もある。フッ化洗口のやり方は指導を行うので、市や厚生委員会からも働きかけをしてほしい」との申し出があった。 次に、『人吉市の行財政健全化計画の歯科保健への影響』については、「令和２年度から歯周疾患検診の受診料が約３倍近くなり、受診率向上という流れから逆行していて、受診に影響が出るのではないかな。自分の歯が残るほど健康寿命が延びる結果が出ているし、歯周病が重度なほど、身体に係る年間総医療費も高くなっている。歯科治療を行っていれば、総医療費は下がる。歯科検診の環境づくりをしてほしい」との申し出があり、厚生委員からは「行財政改革について関係団体にどのような説明をするのか心配していた。納得のいく説明がなされていない旨は報告しておく」との発言があった。また、歯科医師会から「歯があることで物を噛み、口の周りの筋肉が鍛えられ誤嚥性肺炎、認知症なども改善される。単に金額的な数字の話ではなく、歯科治療の重要性を理解して話をしてほしい」との意見が出された。 次に『新市庁舎建設に伴う歯科室新設への要望について』は、「激甚災害における歯科口腔関連の材料の備蓄を含め市長にお願いしている。歯科用チェアがあることで、乳幼児の歯科検診や災害時の避難所の治療に対応できると考える。将来的には歯周病検診もできることで、受診率も向上すると考えられるので実現してほしい」と申し出があった。加えて、「歯科室設置はあるようだが、歯科治療チェアを設置する場合は、配管は先にしないと後ではできないと依頼はしている」との説明もあった。 次に『歯科衛生士の不足に伴う返済不要の奨学金の創設』については、「全国的にだが歯科衛生士が不足している。近年、人吉球磨から進学した生徒は少ない。県歯科医師会から各校へ願書等は出しているが、人吉市歯科医師会からも進学指導の先生に依頼をしている。しかし、学校は３年間で費用がかかるので、奨学金の支援はできないだろうか」との申し出に対し、厚生委員から「他自治体で企業型ふるさと納税を活用した奨学金返済の支援例があるので、提案はしていきたい」との発言があった。
----------	---

	最後に、厚生委員から「歯科医療の実情を聞くことができた。歯科衛生士不足について、歯科治療の重要性も勉強になったところである」、「歯科医師会側の意見を執行部側にしっかりと伝える」として会を締め た。
--	--